



録画配信の
2次元コード

大沢 えみ子

日本共産党

災害時に機能する「要支援者名簿」と「個別計画」を

◆避難行動要支援者名簿の状況

Q 災害時の避難に援助が必要な「避難行動要支援者名簿」の作成状況と、活用事例について交流の場を作る考えは

A 危機管理監 本年4月1日時点の避難行動要支援者名簿への登載者数は2万5,529人であり、そのうち同意されている人数は9,316人。他自治体の取り組みを参考に地域での支え合いが広がるよう支援していく。

◆「個別避難計画」の策定を早急に行うための補助創設を

Q 「個別避難計画」の作成率が低い。補助や委託料を出して計画作成を促進している自治体もあるが、地方交付税に算定されている予算を活用し、狭山市でも補助を創設する考えは

A 危機管理監 先進自治体の事例を参考に、効果や実効性を確認するとともに、必要となる財源の確保にも留意しながら、在り方について調査研究していく。



その他のテーマ▶地域防災計画の見直しについて



録画配信の
2次元コード

土方 隆司

新政みらい

公共施設の老朽化への対応

Q 河川がある街として地域を繋ぐ橋梁は災害時などの有事の際には輸送・避難経路としても重要であるが、重要路線に架かる橋梁の管理状況は

A 総務部長 重要路線に架かる橋梁は、緊急輸送道路に位置付けられている入間川に架かる「広瀬橋」と「いるまがわ大橋」であり、道路法に基づき点検・修繕を実施し、安全性を確保している。

Q 下水道管の老朽化に伴う道路陥没事故などインフラ施設の老朽化は時に市民の命と生活を脅かすこともあるが、上下水道の老朽化対策は

A 総務部長 上下水道については「第2次狭山市水道ビジョン」「狭山市下水道ストックマネジメント計画」に基づき点検・調査・修繕を行っている。

Q 財源が限られる自治体運営において公共施設の老朽化は極めて重大な案件であるが、公共施設の老朽化対策に向けた市長の所信は

A 市長 八潮市の道路陥没事故はインフラを含む公共施設の維持管理が市民の安全に直結することを強く示す事案であり、市民の安心と安全が得られるよう適切な維持管理に取り組んでいく。

